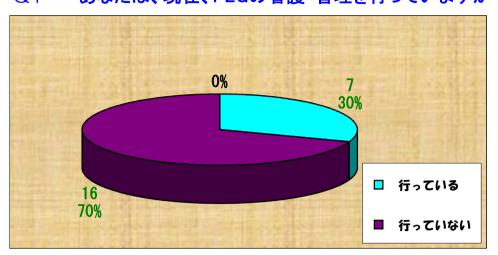
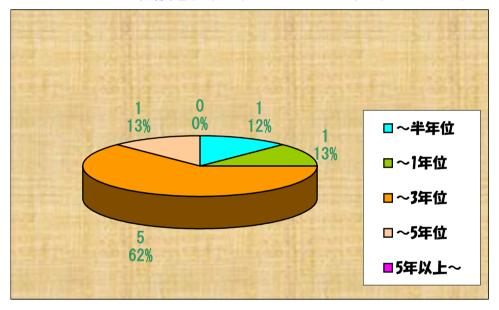
Q1 あなたは、現在、PEGの看護・管理を行っていますか?



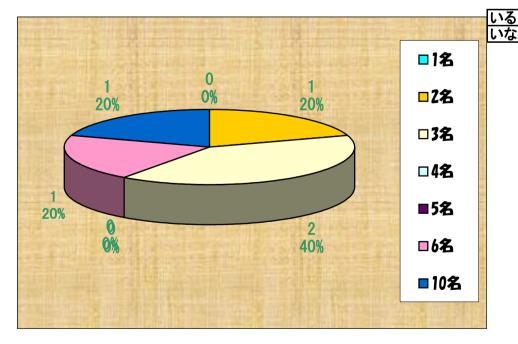
選択肢	回答数
行っている	7
行っていない	16

Q2 PEGの看護を行うようになってから何年になりますか?



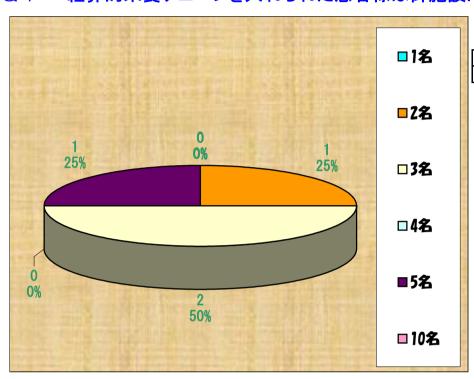
選択肢	回答数
~半年位	1
~1年位	1
~1年位 ~3年位	5
~5年位	1
5年以上~	0

Q3 現在胃ろうを入れられた患者様は御施設に何人いらっしゃいますか?



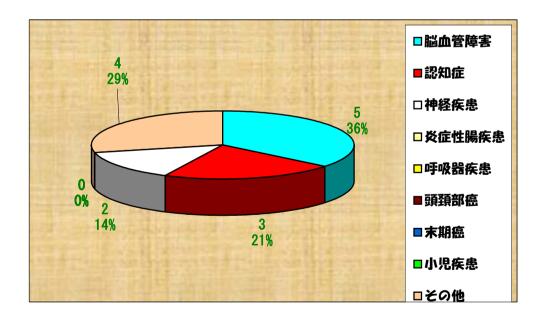
5	4	いる施設内訳	回答数
よい	4	1名	0
		2名	1
		3名	2
		4名	0
		5名	0
		6名	1
		6名 10名	1

Q4 経鼻的栄養チューブを入れられた患者様は御施設に何人いらっしゃいますか?



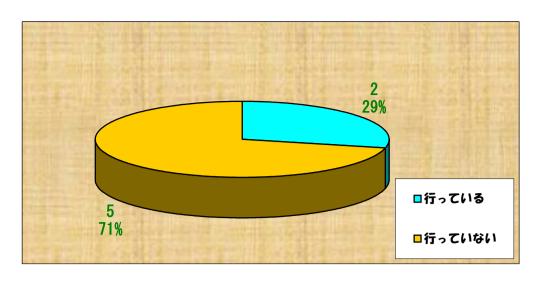
いる	4	いる施設内訳	回答数
いない	4	1名	0
		2名	1
		3名	2
		4名	0
		2名 3名 4名 5名	1
		10名	0

Q5 **胃ろうを入れられた患者様の原疾患は何ですか?**



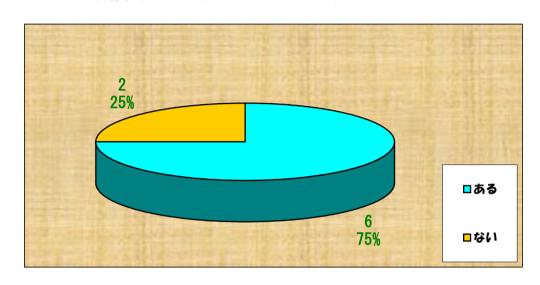
選択肢	回答数
脳血管障害	5
認知症	3
神経疾患	2
炎症性腸疾患	0
呼吸器疾患	0
頭頚部癌	0
末期癌	0
小児疾患	0
その他	4
その他内訳	
(逆流性食道炎)	1
(食欲低下)	1
(熱傷)	1
(精神疾患)	1

Q6 御施設ではPEGの訪問看護を行っていますか?



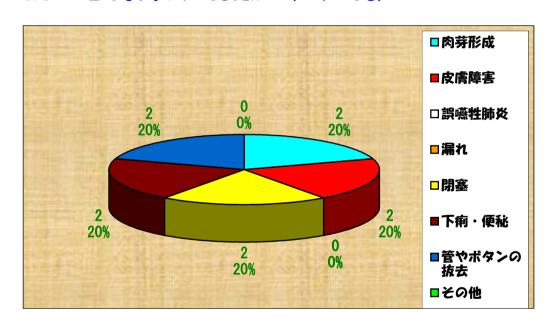
選択肢	回答数
行っている	2
行っていない	5

Q7 看護·管理の中で、トラブルにあったことがありますか?



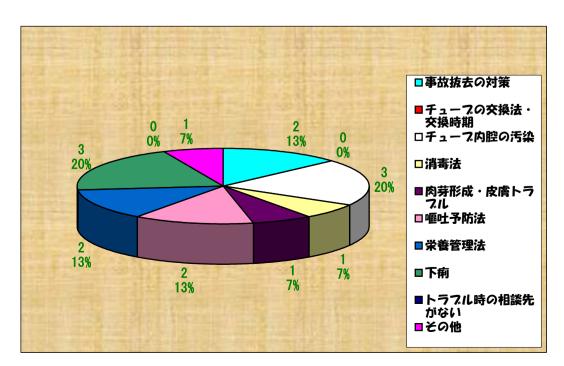
選択肢	回答数
ある	6
ない	2

Q8 どんなトラブルでしたか?(いくつでも)



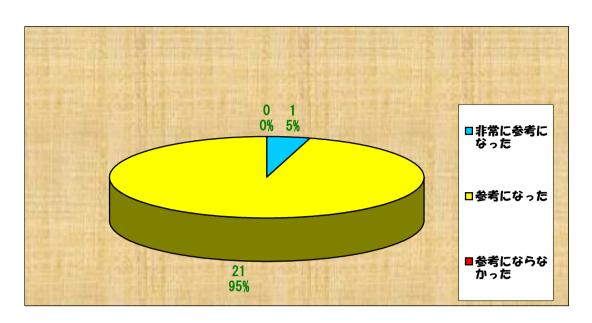
選択肢	回答数
肉芽形成	2
皮膚障害	2
誤嚥牲肺炎	0
漏れ	0
閉塞	2
下痢•便秘	2
管やボタンの抜去	2
その他	0

Q9 **看護・管理の中で、いま悩んでいるものはどれですか?(いくつでも)**



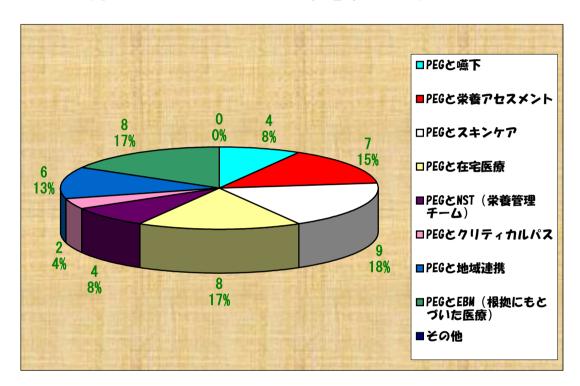
選択肢	回答数
事故抜去の対策	2
チューブの交換法・交換時期	0
チューブ内腔の汚染	3
消毒法	1
肉芽形成・皮膚トラブル	1
嘔吐予防法	2
栄養管理法	2
下痢	3
トラブル時の相談先がない	0
その他	1
その他内訳	
(導尿用バル―ンの使用)	1

Q10 今日のセミナーは参考になりましたか?



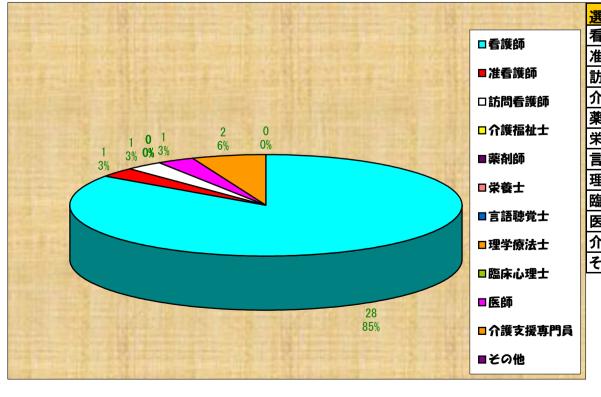
選択肢	回答数
非常に参考になった	1
参考になった	21
参考にならなかった	0

Q11 今後のセミナーのテーマでは何を希望しますか?(いくつでも)



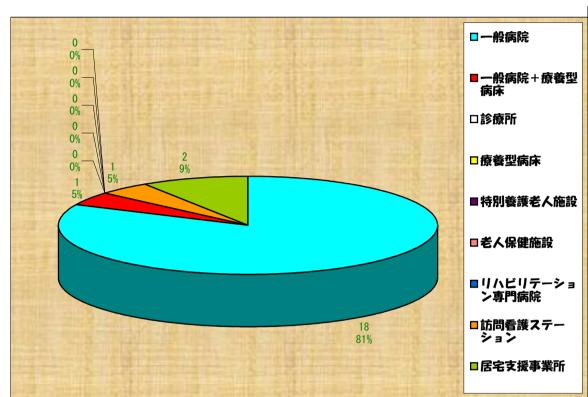
選択肢	回答数
PEGと嚥下	4
PEGと栄養アセスメント	7
PEGとスキンケア	9
PEGと在宅医療	8
PEGとNST(栄養管理チーム)	4
PEGとクリティカルパス	2
PEGと地域連携	6
PEGとEBM(根拠にもとづいた医療)	8
その他	0

Q12 **あなたは次のどれにあたりますか?**



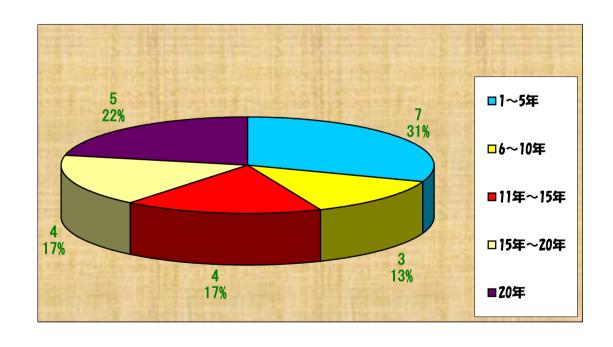
回答数
28
1
1
0
0
0
0
0
0
1
2
0

Q13 **あなたの所属先は?**



選択肢	回答数
一般病院	18
一般病院+療養型病床	1
診療所	0
療養型病床	0
特別養護老人施設	0
老人保健施設	0
リハビリテーション専門病院	0
訪問看護ステーション	1
居宅支援事業所	2
その他	0

Q14 **あなたの職歴年数は?**



選択肢	回答数
1~5年	7
6~10年	3
11年~15年	4
15年~20年	4
20年	5

Q15 PEGの正しい理解のためにはどのようなことが解決されなければならないとお考えですか? どのようなことでも結構です。忌潬のないご意見をおきかせください。

・経鼻の方が手軽にできるというイメージが強い。
・PEGでないといけない症例か経鼻の対象でよいかの中間の場合にどのように医師にすすめるか?
・一度抜いてしまったらすぐ再造設できるのでしょうか?
・PEGについての正しい知識の普及

・食欲低下のために介助すれば食事摂取可能な方でも看護の手が足りない等でPEGをNrから早いうちに薦められたりDrからのムンテラがあり 家族が受け入れられぬまま設置し在宅に帰ってこられることが多いので家族の受け入れに関してしっかり説明する必要があると思います

Q16 今後取り上げてほしい題材がありましたらご記入ください。

事故抜去した場合した場合の対処方法病院内での固形化栄養法